

## マツダ真空管 6J6

用途構造 検波発振増幅用双3極管

特性概要 6J6は高相互コンダクタンスのミニアチュア型双3極管で高周波の増幅、発振及混合用に使います。両グリッドをプッシュプル接続にし、両プレートとカソードを並列接続にして600 Mc迄の周波数混合用として使用出来ます。

カソード 傍熱型(オキサイド被覆・等電位)

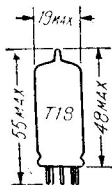
ヒーター電圧 6.3V

ヒーター電流 0.45A

バルブ T-18

ベース ミニアチュア・ガラス・ボタン・7ピン

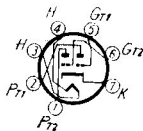
## 外形



## 電極接続

- 1 プレート(2)
- 2 プレート(1)
- 3 ヒーター
- 4 ヒーター
- 5 グリッド(1)
- 6 グリッド(2)
- 7 カソード

## ベース接続



電極間静電容量 (概略値) (外部シールドなし)

|            | ユニット1 | ユニット2 |
|------------|-------|-------|
| グリッドとプレート間 | 1.5pF | 1.5pF |
| グリッドとカソード間 | 2.2pF | 2.2pF |
| プレートとカソード間 | 0.4pF | 0.4pF |

A<sub>1</sub> 級増幅用

(各ユニット毎)

## 最大定格

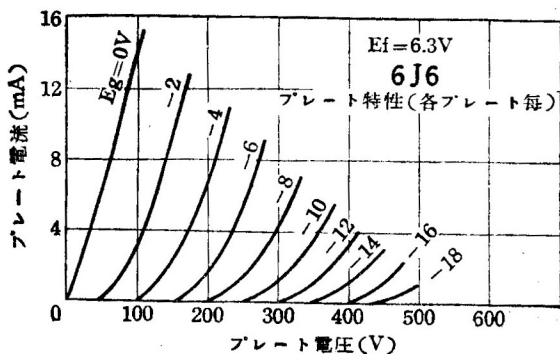
|              |        |
|--------------|--------|
| プレート電圧       | 最大300V |
| グリッド電圧       | 最大 0V  |
| プレート損失       | 最大1.5W |
| ヒーター・カソード間電圧 | 最大 90V |

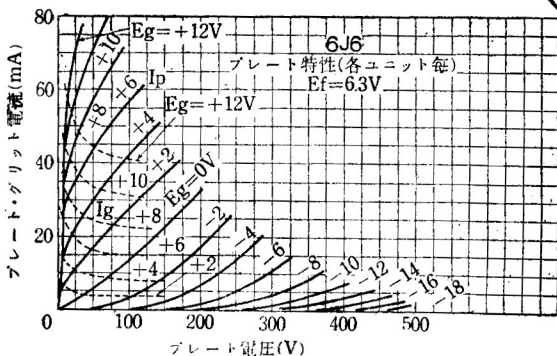
## 動作例及特性

|              |        |
|--------------|--------|
| プレート電圧       | 100V   |
| カソード・バイアス抵抗* | 50Ω**  |
| 増幅率          | 38     |
| プレート抵抗(概略値)  | 7100Ω  |
| 相互コンダクタンス    | 5300μS |
| プレート電流       | 8.5mA  |

\* 固定バイアスの使用は推奨出来ない。最大定格で動作させる場合、グリッド回路の抵抗はカソード・バイアスの時 0.5 MΩを超えないこと。

\*\* この値は上記の条件で動作する両3極管に対する抵抗である。





## 高周波増幅又は発振 (C級電増)

## 最大定格 (各ユニット毎)

|              |        |
|--------------|--------|
| 直流プレート電圧     | 最大300V |
| 直流グリッド電圧     | 最小-40V |
| 直流プレート電流     | 最大15mA |
| 直流グリッド電流     | 最大8mA  |
| 直流プレート入力     | 最大4.5W |
| プレート損失       | 最大1.5W |
| ヒーター・カソード間電圧 | 最大90V  |

## 動作例 (両ユニット・プッシュ・プル)\*

|              |              |
|--------------|--------------|
| 直流プレート電圧     | 150V         |
| 直流グリッド電圧     |              |
| 固定バイアスの時     | -10V         |
| グリッド抵抗の時     | 625 $\Omega$ |
| カソード・バイアスの時  | 220 $\Omega$ |
| 直流プレート電流     | 30mA         |
| 直流グリッド電流 (約) | 16mA         |
| 励振電力 (約)     | 0.35W        |
| 出力 (約)       | 3.5W         |

\* 250MCのプッシュ・プル発振器で約1Wの出力が得られます。但しこの時のプレート電圧は150V, プレート損失は最大定格値, グリッド抵抗には両ユニットに共通の2000 $\Omega$ を使用する。